

【取組内容】「学びあい」を取り入れた授業改善

取り組みの概要： 1人1台端末を有効に活用し、お互いの考えを交流し、自己の考えを広め深める。

- 取り組み** ①知識を相互に関連付けてより深く理解し、情報を精査して考えを形成する場づくり。
②単元及び各時間の計画を立て、子どもと共有する。
③他者参照できる環境をつくる。

①教科書から情報収集・ホワイトボードツールを使った整理分析



②授業の見通しの共有

合同な図形			
問題の番号	求めて	教科書	たしかな問題
①	数の性質を調べ、仲間分けをしよう。	P109～110	ここをクリック
②	点の配置 2つの数が等しくなるのは、どんなときか調べよう。	P111～112	P111
③	点の配置 点の配置 公倍数の見つけ方を考えよう。	P113	P113 P114
④	倍数を使って問題を解こう。	P114	
⑤	点の配置 点の配置 2つの数を同じ数ずつ分けてみよう。	P115～116	P116
⑥	点の配置 点の配置 公約数の見つけ方を考えよう。	P117	P117
⑦	P117 あまりがないように正方形に切り分けよう。	P118	P118

③スプレッドシートによる他者参照

[illegible]

「学びあい」の様子



成果

- ・考えるためのツールを子ども自身が選択したり、他者参照できる環境をフルに活用したりしながら、自分の考えを持ち友だちと交流する姿が見られた。
- ・交流活動において「きまり」を身につけさせたり、「目標」を掲げたりすることで、意欲的に交流活動が行うことができていた。
- ・必要感がある交流活動にすることによって、やらされ感がない活発なペア・グループ活動が見られた。
- ・自身が練習し足りない点を個別に確かめてから交流に移ることで、自信をもって交流する様子が見られた。

課題

- ・交流活動が、自分の考えを伝えるだけで終わらず、もっと考えを広げたり深めたりするには、どうすべきか。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

玖珠町立塚脇小学校（大分県）【指定校】

【取組内容】「やる気づくり」をめざした授業改善

取り組みの概要：1人1台端末を有効に活用し、児童がやる気を持って(感じて)授業に参加する。

取り組み ①既習事項の確認 ②スライドを用いた他者参照 ③課題、めあて、本時のゴールの明確化

①フォームによる復習 ②スライドを用いた他者参照

前回のふくしゅう

め：大昔のにはんのようなすについて調べよう

土器 縄文時代
縄文時代 弥生時代
弥生時代 古墳時代

か：縄文時代と弥生時代にはどのような違いがあるのか？

村と村 vs 村＝豪族ーもっと大きくなる＝国＝王

邪馬台国 卑弥呼 山本重國

ま：縄文時代では道具を石で作って狩りをしていたり、農に入れた？みたいなのがある時代に弥生時代は農に色がついている。建物も進化してたり、村を建てたりしている時代

1000は、100をいくつあつた数ですか？

1000 1200 1300 1400 1500

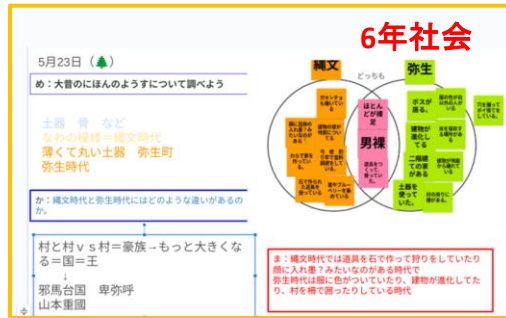
2300は、100をいくつあつた数ですか？

2300 2400 2500 2600 2700

2800は、100をいくつあつた数ですか？

2800 2900 3000 3100 3200

2年算数



③評価の共有

2 今日のゴール！かくにん

Sランク：地いきの人びとの活動を知り、いろんなきかんと協力している理由を自分の言葉でせつめいできる！

Aランク：地いきの人びとの活動を知り、いろんなきかんと協力している理由がわかる！

Bランク：地いきに人びとの活動が分かる！

3年社会

やる気づくりの様子



成果

- ・授業開始時に「アンケートツール」を使って前時の確認することで、授業の導入をスムーズにすすめることができた。
- ・困りのある児童が他者参照することで、意欲的に取り組んでいた。
- ・課題、めあて、本時のゴールを明確にすることで、子どもたちが主体的に取り組むようになってきた。
- ・ICTツール（アプリ・デジタルホワイトボードソフト・電子黒板等）を活用することで、より分かりやすい授業になり、学習意欲を高めることができています。

課題

- ・児童の発達段階や学級の実態に応じてどこまで子どもに委ねるか、その判断をどうしていくのか。
- ・クラウド上での作業中のトラブルなど（スライドの消失・ネット回線の不具合など）への対応をどのようにしていくか。
- ・個々のペースで行うとき、未消化の児童への対応をどうするか。
- ・焦点化した課題解決の後、その知識を汎用的なものにしていくにはどうすればよいか。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

玖珠町立塚脇小学校（大分県）【指定校】

【取組内容】 帯時間を活用した情報活用能力の育成

取り組みの概要：毎週金曜日、塚脇タイム(帯時間)を活用し、学年の実態に合わせた情報活用能力の育成をおこなう。

取り組み ①タイピング大会の開催 ②情報モラル学習 ③基本的なアプリ操作の練習

①タイピングソフトの積極的な活用 ②情報モラル学習サイト（文科省）の活用

1 分間	2024. 1	2025. 1
200文字以上	2. 7%	5. 4%
150文字以上	16. 2%	18. 9%
100文字以上	34. 5%	38. 5%
50文字以上	33. 8%	27. 7%
合計	87. 2%	90. 5%

タイピング大会結果（3年生以上）



③学年別活用スキル表の作成と活用

Chromebook 学年別活用スキル表 Ver.1.0

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ドライブ	・ドライブの中を見ることが出来る。	・必要なフォルダを見つけてデータを保存することができる。	・画像等をフォルダに保存で見つけることができる。	・画像等をフォルダに保存することができる。	・自分でフォルダを作り学習用の仲間と共有し、利用することができる。	・自分でフォルダを作り学習用の仲間と共有し、利用することができる。
達成状況	ほぼ全員が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
Classroom	・「ストリーム」で先生からの連絡を見ることが出来る。	・「授業」から、利用する資料を確認して見ることが出来る。	・「授業」から、利用する資料を確認して見ることが出来る。	・「授業」から、利用する資料を確認して見ることが出来る。	・「授業」から、利用する資料を確認して見ることが出来る。	・「授業」から、利用する資料を確認して見ることが出来る。
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
スライド	・スライドショーを見ることが出来る。	・図形や写真を動かしたり、貼り付けることができる。	・スライドのテーマや背景を変えることができる。	・スライドのテーマや背景を変えることができる。	・スライドのテーマや背景を変えることができる。	・スライドのテーマや背景を変えることができる。
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	あまりできない。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
フォーム	・選択式の質問に答えることができる。	・記述式（短文）の質問に答えることができる。	・小テストに回答し正誤を確認することができる。	・簡単なアンケートやクイズを作成する。	・目的に応じた回答方法を選ぶことができる。	・画像を貼り付け、条件分岐を取り入れる。
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
ドキュメント	・文字の大きさやフォントを変えることができる。	・音声や写真を自分の考えを短文で書くことができる。	・自分の考えを書き課題を提出できる。	・ネットから文章をコピーペーストして掲載することができる。	・写真や図形を入れて考えをまとめる。	・編集モードで互いの文章を書くことができる。
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
ジャムボード	・付箋に文字を書くことができる。	・付箋に文字を書くことができる。	・表や思考ツールに合わせて付箋を分類できる。	・グループや全体で交流を深める。	・付箋の内容を読み、分類、比較、関連付けながら整理することができる。	・付箋の内容を読み、分類、比較、関連付けながら整理することができる。
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
スプレッドシート	・プルダウンリストから選択することができる。	・半端で指定箇所に入力することができる。	・半端で指定箇所に入力することができる。	・半端で指定箇所に入力することができる。	・半端で指定箇所に入力することができる。	・半端で指定箇所に入力することができる。
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
写真	・写真共有、見ることが出来る。	・写真共有、見ることが出来る。	・写真共有、見ることが出来る。	・写真共有、見ることが出来る。	・写真共有、見ることが出来る。	・写真共有、見ることが出来る。
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。
タイピング技能	・音声入力、かな入力	・音声入力	・音声入力	・音声入力	・音声入力	・音声入力
達成状況	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。	ほぼ全員の児童が出来る。

成果

- ・1年時より、見通しを持って、クロームブックの活用スキル育成に努めることができる。
- ・ローマ字指導に合わせなくても、タイピング指導をすすめることができる。
- ・個の進度に合わせて、タイピングスキルを身に付けさせることができる。
- ・情報モラルの学習を定期的に行うことができる。
- ・学校全体で取り組むことで、どの教科でもクロームブックを授業で活用していくことができる。

課題

- ・今年度の実績を鑑みて、しっかりとした年間計画を作成していかなければならない。
- ・学年別スキルは一応の目安であり、児童の実態に応じて対応していかなければならない。

【取組内容】修学旅行サイト作成の取り組み

取り組みの概要：個々で修学旅行サイトを作成し、課題、予備学習、見学の様子、まとめなどを掲載する。

取り組み ①修学旅行サイト作成 ②保護者との共有

【目標設定】

【課題設定】

【情報収集】

【整理分析】

修学旅行の めあてとテーマ

1. 活動班のめあて

めあて：読で協力して活動する。

ふりかえり：読で協力して活動ができた。メモをたくさん取ることができた。

60秒をあげたい人は、()さんです。なぜなら、読で協力して活動ができていたし、友のみんなをまとめたいたから。

2. 宿泊班のめあて

めあて：忘れ物をせず、他のお客さんに迷惑をかけずに楽しむ。（目標を小さくする、さわがない）

ふりかえり：忘れ物がないようにできた。他のお客さんには迷惑をかけたかもしれない。

反省をあげたい生徒は、（ ）さん。なぜなら、席のみんなをまとめていたから。

3. 個人のめあて

めあて：今の私は原爆とあの詩とがわからないけど、詩学旅行を通して原爆の事を話せるようになって得てきます！

ふりかえり：原爆の怖さを知ることができた。でも知らずと原爆のことは話せない。それでも半分は話せたり説明できるかもしれない。

4. 私の学習のメインテーマ

（原稿の時の話をよく聞いてメモを取る）です！

児童各自が目標を設定し、振り返りを行った。

事前学習



半分で立っているからすごい！！

原子爆弾はこれだけ強かった。



なぜこのようなポーズになっている？



この場所でどのような生活が行われていたのだろうか？

事前学習は、見学場所でどんなことを調べたいかを考えた。

平和



ある事象によって起るのは必然的であると断言したことを思い出して。金平があの世の神に話しているのは、平和な世界にしているように。お寺の僧侶は金平が来たというのを皆が耳に届くように話をするのです。

[illegible]

現地では、端末を持って行き、一日目のホテルでサイトをアップした。

思い出のページ

1. 日記 (1日目)

[illegible]

2. 日記 (2 日目)

[illegible]

3. 思い出の写真



修学旅行終了後、個人・グループ・全体で振り返りを行った。

成果

- ・これまで「全体」で行うことしかできなかったことを、「個別最適化」する場面を設定することができた。
- ・これまで学んだ端末の活用技術を生かして、サイトを作るという初めての経験を行うことができた。
- ・玖珠町ジュニアICTリーダー事業に参加した児童が、サイト作りの技術をみんなに広めることができた。
- ・保護者から「子どもたちの学習の様子や当日の様子を知ることができてよかった」と多くの声をもらった。

課題

- ・今年とはとにかく手探り状態でのサイト作成であった。当日の端末の持ち運び、写真データの共有、個と全体のバランスなど、今年度の課題を来年度にしっかりとつなげていかなければならない。
- ・サイト作りを含めた情報活用能力を育成するための年間指導計画をさらにブラッシュアップしていかなければならない。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

玖珠町立塚脇小学校（大分県）【指定校】

【取組内容】クラウド上で日課表や宿題の確認

取組みの概要：日課表・授業準備物・宿題などをクラウド上にあげ、児童が自己管理できる環境をつくる。

取組み ①教室モニター用の日課表作成 ②クラウドで共有 ③提出物チェックとの連携

教室モニター用日課表

1月24日(金)			宿題 提出日：1月24日(金)		1月27日(月)		
		先生あのねを入力			朝		先生あのねを入力
1	国語	「便利」をさがそう 7	漢字スキル	漢字スキル9をていねいに書いてくる	1	算数	算数に必要なもの
2	音楽	音楽に必要なもの（音楽室）	算数	計ド73	2	国語	「便利」をさがそう 8
中休			音読	家庭学習カードを確認	中休		
3	社会	わたしたちの住む県 5			3	総合	委員会希望、二分の一成入式の準備
4	算数	算数に必要なもの			4	社会	わたしたちの住む県 6
昼休					昼休		
5	道徳	アカウミガメの来る浜	持ち物・お知らせ		5	国語	「便利」をさがそう 9
6	図工	ジュニアデザイン展	赤白帽子	グロームを充電してくる	6	理科	理科に必要なもの（教室）
塚脇	情報		国語の教科書 下	図工で使いたいもの（23日）	塚脇		
下校		16：15		学級費（28日まで）	下校		16：15

成果

- ・端末を持ち帰る意義を子どもや保護者に感じさせることができた。
- ・家庭学習を自己管理することができた環境を整えることができた。
- ・日課表の更新を子どもたちが担うことで、日課表を活用しようとする雰囲気をつくることができた。
- ・専科教員からの連絡を即時で使えることができる。

課題

- ・宿題や日課表を自己管理できるかどうかは、システムに因るわけではない。システムに頼るのではなく、子どもたちにどういう力をつけるべきかが大切である。
- ・現在は、このシステムを使うかどうかは、担任に任されている。子どもの発達段階を見据えた6年間のロードマップが必要ではないか。

出席番号	【あなたの未提出】	【締め切り】
6	計算ドリル	1/20(月)
	計算ドリル	1/22(水)

子どもが個々で確認する日課表には、未提出物も確認できるようになっている。

五年一組										
OK!	しめきり	17(金)	1/17(金)	1/20(月)	1/20(月)	1/21(火)	1/21(火)	1/22(水)	1/22(水)	
		数プリント	漢字	計算ドリル	漢字	算数プリント	漢字	計算ドリル	漢字	計算ドリル
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

教員用のチェックシートが反映されるようになっている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

玖珠町立塚脇小学校（大分県）【指定校】

【取組内容】クラウドをフル活用した情報共有

取り組みの概要：職員共有のサイトを作成し、日々の連絡を共有するとともに、いつでも、どこでも、会議資料などを確認できるようにした。また、チャットを活用し、迅速な連絡体制を整えた。

取り組み ① 塚脇サイト

様々な情報

四季折々の風景や子どもたちの頑張りの様子(月替わり)

従来職員朝会で確認していた内容。教頭が主に編集。

1月・3月行事予定
せんせいあのね
86年度半ばの振り返り
スケジュール
情報小職員室
塚小月報ドライブ
参加要請書
職員連絡会資料
2学期お楽しみ会

前期の連絡会(1月22日)資料は[こちら](#)、各教室用日課表は[こちら](#)、来週(1月5日)の道草は[こちら](#)、今週(1月4日)の道草は[こちら](#)、
集金(スマイルタイム)計画、業務改善アイデアは[こちら](#)、**NEWS！生徒会工役生担任**、遠征資料(職員訪問指導記録)

○交通取り回し情報▶[こちら](#)、○Tコンパス改善点▶[こちら](#)、○2月・3月行事予定▶[こちら](#)
○2/13日教育研究協議会日程▶[こちら](#)
注意！1月29日(水)県のサーバーメンテナンスのため19時～21時通信が安定しないそうです。
(校務支援システム)

1月24日(金)
☆本日の予定
※帽子の管理徹底、**※各PT年度後半の取り組み**
・3年生地震体験車体験 3時間目
※中休み、児童玄関前は遊ばません。
・2年生多目的ホール使用 4時間目
・校長会役員会 校長室 15:00～

② To do リスト・チャットの活用

作業 & ToDo!															
ToDo!!															
PT	期日	タイトル (やること)	締め切り	備考・詳細説明	その他の担当教員		完了確認					未			
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		⑧	⑨	⑩
1	その他	12/18(水)	1/10(木)	1/10(木)	校内研修「教務・教育課程」です。各教室へ、資料配付したファイル配付に「議」をつけてください。										
2	教務	12/18(水)	1/11(金)	1/11(金)	校内研修「教務・教育課程」です。各教室へ、資料配付したファイル配付に「議」をつけてください。										
3	学力	1/15(水)	1/11(金)	1/11(金)	下記の3つのリストから、優先順位をつけてファイルに入力をお願いします。「このまじろ」(1/10)の作成をお願いします。「このまじろ」(1/10)の作成をお願いします。										
4	教務	2025/1/12	2025/1/12	2025/1/12	4校時研修「100時間研修」に、集金ファイル(1)「学年別」から集金、各教室ファイル(1)「注文書」・補修教科書訂正用紙(1)「タテ」までを補修教科書										
5	弾正	1/22(水)	1/27(金)	1/27(金)											
6	教務	12/24(水)	2/14(金)	2/14(金)	1/10(土)研修「100時間研修」に、集金ファイル(1)「学年別」から集金、各教室ファイル(1)「注文書」・補修教科書訂正用紙(1)「タテ」までを補修教科書										

職員連絡会で提案されたすべきことや締め切りが一覧になっている。提案は文章ごとにまとめ直され、来年度の提案のベースになる。

③ 健康観察（せんせいあのね）

朝、子どもが打ち込んだ体や心の状況を、担任、養護教諭、管理職が瞬時に共有。

④ リンクの活用

職員会議、連絡会などのレジュメ（A41～2枚）に、すべての会議資料(提案文書)はリンクされている。

⑤ チャットの活用

チャットを活用し、即時で情報を共有するようにしている。また、校内研究でも積極的に活用している。

成果

- クラウドを活用した情報共有を通して、職員のクロームブック活用率が上がり、授業への活用にもつながっている。
- 研修でのクラウド活用は、これまでの研修のやり方を大きく変え、新たな手法で実施できる。

課題

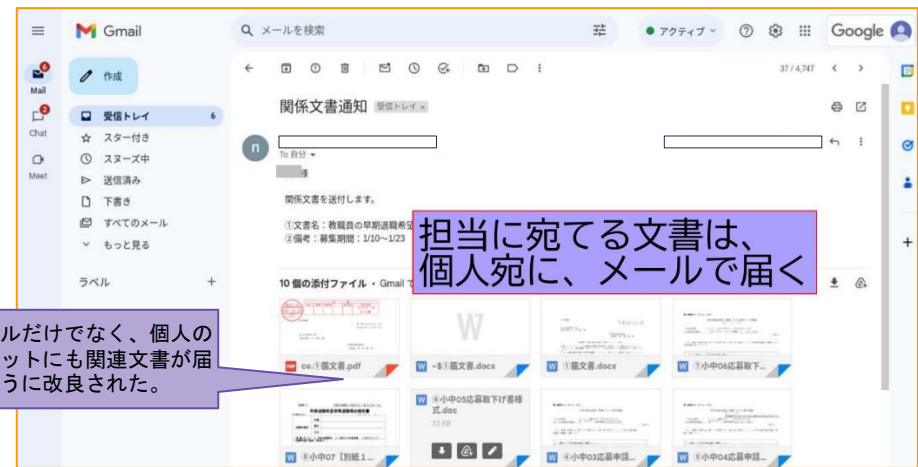
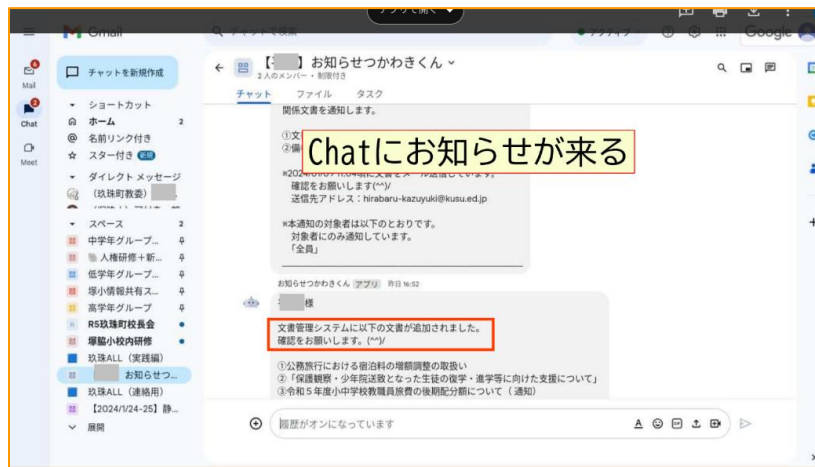
- 情報共有を徹底するためには、必ず会話（確認）が必要である。
- 校務パソコンとの兼ね合いをどうするか。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

玖珠町立塚脇小学校（大分県）【指定校】

【取組内容】文書管理システムの取り組み

取り組みの概要：毎日山のように学校に来る文書を、効率よく決済し、担当者に確実に文書を渡すためのシステムを作り、運用する。



メールだけでなく、個人のチャットにも関連文書が届くように改良された。

この文書のリンクを開けば、関連文書全部を見ることができる。

文書名		校長	承認時刻	教頭	承認時刻	取扱者	承認時刻
1	①公務旅行における宿泊料の増額調整の取扱い	✓	2024/01/10 12:52:18	✓	2024/01/10 7:00:05	✓	2024/01/09 16:59
2	②「保護観察・少年院送致となった生徒の復学・進学等に向けた支援」	✓	2024/01/10 12:52:47	✓	2024/01/10 7:00:07	✓	2024/01/09 16:53
3	③令和5年度小中学校教職員旅費の後期配分額について（通知）	✓	2024/01/10 12:53:35	✓	2024/01/10 7:00:08	✓	2024/01/09 16:53

文書管理システムで、文書内容を確認する。
これまで「はんこ」で承認していた文書は、チェックに変わった！

成果

- 印刷するものがないため、紙の使用量が莫大に削減できている。

課題

- 情報を受け取る側の意識の向上